

競技注意事項

1. 開催日 2019年4月27日(土)・4月28日(日) 準備生徒入場7:15
一般開場7:30
2. 会場 三ツ沢公園陸上競技場
3. 規則 2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じておこなう。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は8時40分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。
5. 練習
- ・サブグラウンドを使用する。
 - ・砲丸の練習は競技場の投てきピットのみとする。
 - ・公式練習 走高跳は男子1m55、女子1m35の高さでおこなう。
棒高跳は同一の高さで2回までの練習を認める。ただし高さは2m70、3m20、3m70から選択する。
 - ・競技者以外の練習は認めない。
6. 招集
- ・招集時間はトラック種目は、競技開始40分前～20分前まで。
走高跳・走幅跳・砲丸投は競技開始70分前～50分前まで。
棒高跳は競技開始90分前～60分前まで。
 - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - ・本人がおこなう。このときナンバーカードとスパイクの確認をおこなう。
(ピンの長さは9mm以下。ただし走高跳は12mm以下)
※招集所には、本人のみで行く。付き添いの同行は認めない。
 - ・競技中に他の種目に出場する場合は、代理人を認める。
 - ・招集場所での受付終了後、各種目のスタート地点・競技場所に20分前には待機して、スタート・競技開始前に最終確認をうける。
7. リレー
- ・オーダー用紙提出は、競技順序に記載されている提出時間までに招集所へ提出する。決勝のオーダー用紙提出は2日目の朝8:00～8:20までに提出する。
(用紙提出は1名でよい。)
 - ・競技者はスタート20分前までに各スタート地点に集合する。
8. ナンバーカード
- ・胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - ・白のB5版の大きさの布に、男子は黒字、女子は赤字で記入する。
文字の高さは12cm、幅は5cm以上とし、飾り文字は使用しない。
 - ・トラック種目、リレーのアンカーは右腰に招集所で受け取った腰ナンバーカードをつける。
9. 計測
- 1) トラック 電気計時の場合は、全ての競技者のタイムを計測する。
※中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を越えた場合はただちに競技を終了する。

	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	

※何らかのトラブルで手動計時になった場合、100m・200m・400m・ハードルリレーは予選は4着まで、800m予選は6着、1500m予選・3000m予選は12着まで計測する。決勝は全ての競技者のタイムを計測する。

2) フィールド

計測ラインおよびバーの上げ方は、下記の通りとする。

	男 子	女 子
走幅跳	5m60	4m80
砲丸投	10m00	9m80
走高跳	1m60 (5cm) ・ 1m75 (3cm)	1m40 (5cm) ・ 1m45 (3cm)
棒高跳	2m80 (10cm) ・ 4m00 (5cm)	

*走幅跳・砲丸投は上記の記録を予選通過ラインとし、これに達した場合残りの試技はおこなわない。(気象条件等により、当日計測ラインを変更する場合は、審判長が定める。) 決勝は、すべての記録を計測する。

10. 予選通過

トラック 電気計時 全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。
同タイムの場合細部まで拡大して読みとり着差をつける。それでも決定できない場合は抽選とする。なお、800m・1500m・3000mは、同タイムの場合、次のラウンドに進出できる。
手動計時 同タイムだった場合、着順を優先し、それでも決定できない場合は、抽選とする。

100m・200m・400m・800m・ハードルは8名、
1500mは15名、3000mは18名で決勝をおこなう。
リレーは8チームで決勝をおこなう。

11. 表彰 各種目とも優勝者には選手権章、8位まで賞状を授与する。競技終了後、係の指に従い表彰待機場所(メインスタンド下中央)に集合する。

12. 応援
・応援、付き添いは、フィールド内や競技場内には入ってはならない。
・スタート時の応援は禁止する。
・応援横幕……メインスタンドは設置禁止。
・のぼり旗……メインスタンドは設置禁止。バックスタンドは最前列への設置禁止。
・テント・シート……メインスタンドは設置禁止。

13. その他

- ①スタートの合図・不正スタートについて
 - ・トラック競技のスタートは、イングリッシュコマンドでおこない、1回目の不正スタートで失格とする。
 - ・2019年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。不適切行為があった場合、注意を与える。
- ②競技場の利用の仕方
 - ・競技者は指示された場所・通路を使用し、フィールド内や立ち入り禁止区域には絶対に入らない。
 - ・開門前には競技場には入らない。整列をして待つ。
- ③競技者の控え場所
 - ・スタンドを利用し、所持品は各校で管理する。更衣室は更衣のみに使用する。
- ④今大会については、選手以外の応援・見学を禁止する。
- ⑤開閉会式
 - ・競技場内には整列せず、参加者はスタンドにて静かに参加する。
- ⑥レストハウス、スタンド下通路には、シートを敷かない。

※招集所は、100mスタート付近(スタンド下)に設置する。

